

第4章 市の地理的、社会的特徴

市は、国民保護措置を適切かつ迅速に実施するため、その地理的、社会的特徴等について確認することとし、以下のとおり、国民保護措置の実施にあたり考慮しておくべき市の地理的、社会的特徴等について定める。

1 位置

本市は、宮城県北に位置し、北部は岩手県、西部は栗原市、南部は石巻市、遠田郡、大崎市、東部は本吉郡に接している。面積は 536.12 km²で、宮城県全体の 7.36%を占めている。各市境の緯度、経度は次のとおりとなっている。

方位	地名	東経	北緯
東端	登米市東和町米川地内	141° 25' 16"	38° 46' 5"
西端	登米市迫町新田地内	141° 3' 31"	38° 41' 0"
南端	登米市豊里町二ツ屋地内	141° 13' 51"	38° 32' 50"
北端	登米市東和町米川地内	141° 19' 13"	38° 49' 13"
迫庁舎	登米市迫町佐沼字中江 2-6-1	141° 10' 7"	38° 41' 28"

2 地勢

西部が丘陵地帯、東部が山間地帯で、その間は広大で平坦肥沃な耕土を形成し、県内有数の穀倉地帯となっている。

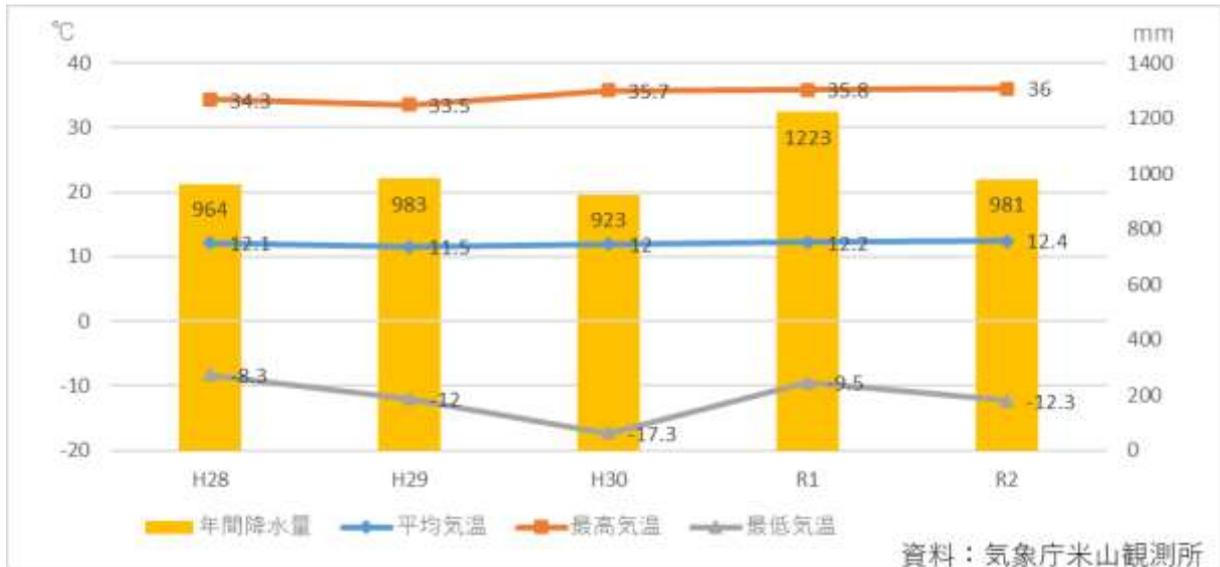
河川は、迫川と夏川が市のほぼ中央を北西から東南に貫流し、市の東側を北から南に流れる北上川と旧北上川を介して合流している。

また、市の北西部には伊豆沼・内沼、長沼、さらに南部に平筒沼がある。

3 気候

本市は東南部の一部において太平洋岸気候を示しているが、大部分は内陸性気候となっており、気温の差が大きく、令和2年の年間平均気温は 12.4°C、年間降水量は 981 mmとなっている。

冬期の降水量は少なく、降雪期間も比較的短いことから、東北地方にあって温暖な住みよい条件下にある。

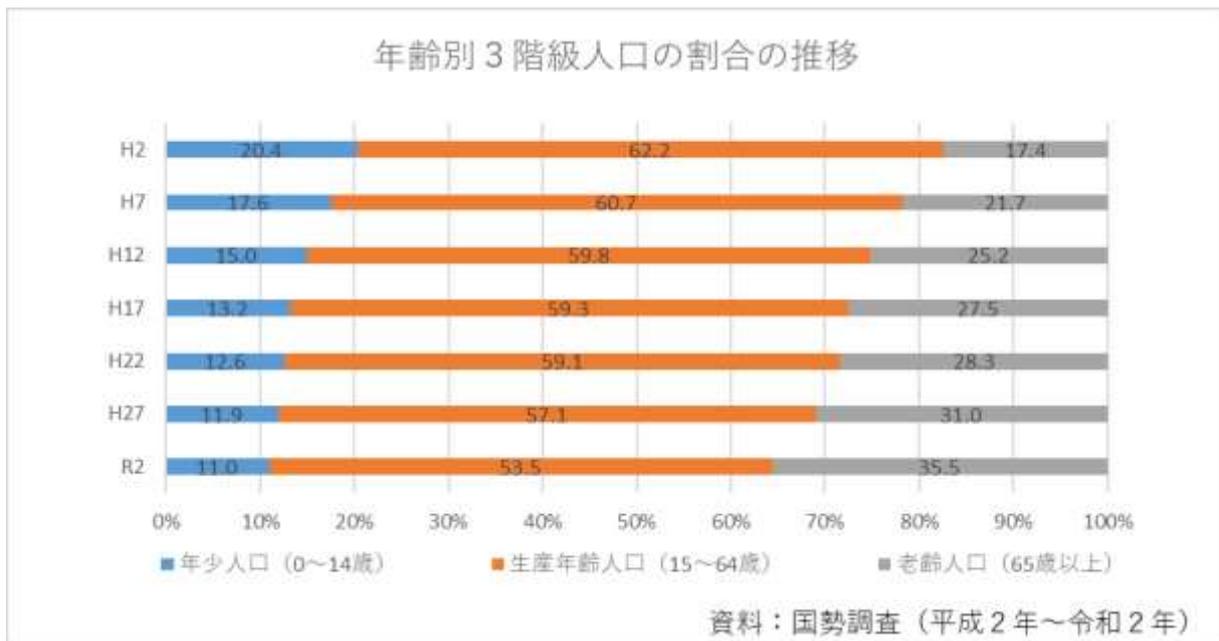


4 人口

総人口は令和2年には、76,037人で、平成27年調査時より約7.2%減少している。世帯数は25,697世帯で、減少傾向にあり、1世帯あたりの人員も年々減少している。

また、年齢別3階層人口で比較すると、平成22年から令和2年の10年間に、年少人口の割合は12.6%から11.0%に減少し、逆に高齢者人口の割合が、28.3%から35.5%に増加しており、さらに少子・高齢化が進んでいる。

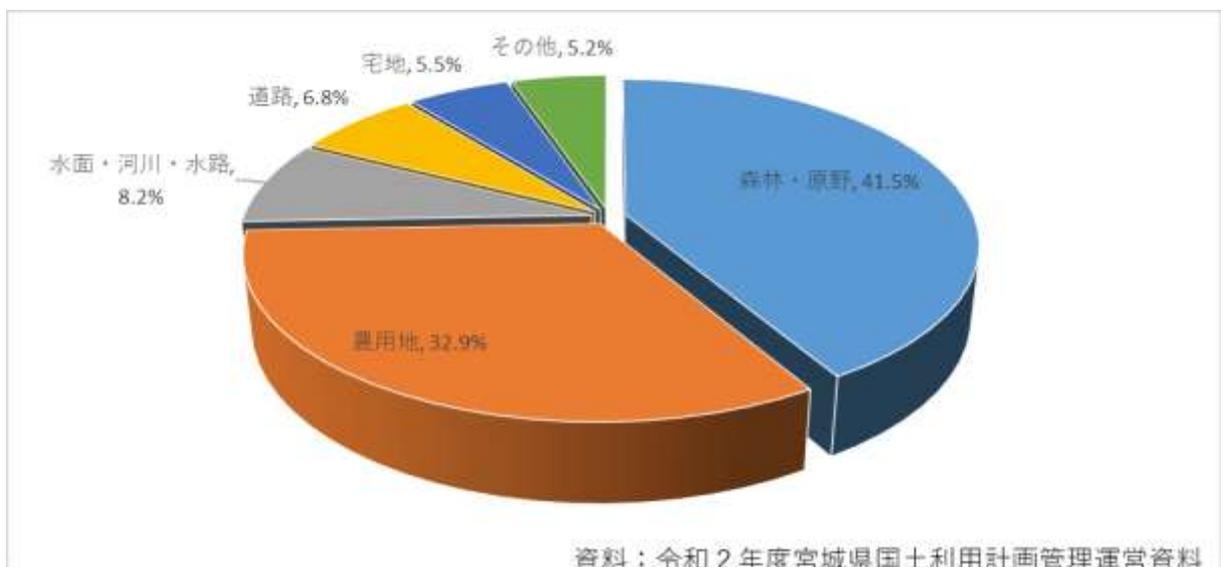




5 土地利用

本市の面積は 536.12km² で、県全体の 7.36% を占め、栗原市、大崎市、仙台市、石巻市に次いで県内第 5 位の広さがある。

地目別では森林・原野 222.50km² (41.5%) が最も多く、農用地 176.10km² (32.9%)、宅地 29.64km² (5.5%) となっており、自然が豊かである。



6 交通網

(1) 道路

本市の道路網は、国道 45 号、342 号、346 号、398 号及び国道 456 号を主軸として、主要地方道 8 路線及び一般県道 15 路線で形成されており、そのうち主要な 6 路線が迫町を中心として放射状に延びている。

(2) 鉄道

市内の鉄道は、J R 東北本線が本市の北西部の迫町と石越町を、J R 気仙沼線が本市南部の豊里町と南東部の津山町まで走っている。

7 その他

本市に、空港、港湾、自衛隊施設、原子力発電所、石油コンビナートは無いが、本市の、豊里町域の一部及び津山町域の大半が東北電力(株)女川原子力発電所からおおむね 30km 圏内（避難、屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等を準備する区域）にあることから、原子力防災対策を重点的に充実すべき地域の区分に応じた防護措置の準備と実施が求められる。